

容器包装リサイクル法に係る
第 6 期 分 別 収 集 計 画

平成 22 年 6 月

筑紫野市ごみ減量推進課

筑紫野市第 6 期分別収集計画目次

1 . 計画策定の意義	3
2 . 計画の基本的方向	3
3 . 計画期間	3
4 . 計画の対象品目	4
5 . 各年度における容器包装廃棄物の排出量の見込み	4
6 . 容器包装廃棄物の排出抑制のための方策に関する事項	4
7 . 分別収集をするものとした容器包装廃棄物の種類及び 当該容器包装廃棄物の収集に係る分別の区分	5
8 . 各年度において得られる分別基準適合物の特定分別基準 適合物ごとの量及び法第 2 条第 6 項に規定する主務省令 で定める物の量の見込み	6
9 . 各年度において得られる分別基準適合物の特定分別基準 適合物ごとの量及び法第 2 条第 6 項に規定する主務省令 で定める物の量の見込みの算定方法	7
10 . 分別収集を実施する者に関する基本的な事項	7
11 . 分別収集の用に供する施設の整備に関する事項	7
12 . その他容器包装廃棄物の分別収集の実施に関する重要な事項	8

筑紫野市第6期分別収集計画

1. 計画策定の意義

筑紫野市では将来都市像を「みんなでつくる 自然と街との共生都市 ちくしの」と掲げ、“自然と街との共生都市”を本市の普通の都市像としつつ、全ての市民がまちづくりの主役であると明言し、住民参加のまちづくりを推進している。

本市におけるごみ量は、人口の増加、都市化の進展により急激に増加したが、ごみ減量やリサイクル意識の高まりの中で、平成16年度以降は減少傾向に転じている。

しかしながら、豊かな自然環境に恵まれた快適な街づくりを継続していくためには、現在の大量生産、大量消費の使い捨ての生活様式から転換を図り、循環型社会を構築していく必要がある。

また、循環型社会とは、ごみの発生や排出を極力抑え、それでも排出されたごみは適正に再利用・再資源化を行い、もっと天然資源の消費を抑制し、生活や事業活動に伴う環境への負荷をできるだけ低減する社会システムであり、従来の焼却処理を中心としたごみ処理システムからの脱却を目指すものである。

そのためには、「循環型社会づくり」において、生産から消費にいたるあらゆる段階において、市民・事業所・市が主体的にそれぞれの役割と責任を分担し、更なるごみ減量行動を展開していくことが必要である。

本計画はこのような状況の中、容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律（以下「容器包装リサイクル法」という）第8条に基づき、環境保全、資源保護の推進等を目的として、一般廃棄物の中で大きな比率を占める容器包装廃棄物を分別収集し、及び地域における容器包装廃棄物の3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に関する、市民・事業所・行政の役割の明確化、具体的な推進方策を明らかにするとともに、関係者が一体となって取り組むべき方針を示したものである。

今後は、本計画を円滑に推進することにより、環境に調和した快適な街づくりを持続的に可能とする真の循環型社会の形成を図るものとする。

2. 基本的方向

本計画を実施するに当たっての基本的方向を以下に示す。

市民・事業者・市が一体となって、ソフト面、ハード面全般にわたり、環境への負荷に配慮した快適な街づくりを行う。

容器包装廃棄物の発生抑制、再使用を第一とし、また効率的なリサイクルを基本とした地域社会づくり。

市民、事業者、行政の三者協働での取り組みの拡大。

循環型社会形成を推進する資源循環型施設での適正処理。

容器包装以外の廃棄物についても減量・再資源化の促進を行う。

3. 計画期間

本計画の期間は平成23年4月を始期とする5年間とし、3年ごとに改定する。

4. 対象品目

本計画は、容器包装廃棄物のうち、スチール製容器、アルミ製容器、ガラス製容器（無色、茶色、その他）飲料用紙製容器、段ボール、紙製容器包装、ペットボトル、プラスチック製容器包装のうち白色トレイを対象とする。

5. 各年度における容器包装廃棄物の排出量の見込み（法第8条第2項第1号）

（単位：t / 年）

項 目	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
容器包装廃棄物	6,723	6,711	6,700	6,688	6,677

6. 容器包装廃棄物の排出の抑制の推進するための方策に関する事項

（法第8条第2項第2号）

容器包装廃棄物の排出抑制のために、以下の方策を実施する。

なお、方策の実施に当たっては、消費者、事業者、再生事業者等がそれぞれの立場から役割を分担し、相互に協力・連携を図る。

（1）啓発活動の充実

ア 商品の過剰包装を抑制し、簡易包装を求める意識を啓発する。

イ 買い物袋を持参するマイバッグキャンペーンを推進する。

ウ 詰め替え可能な商品及びリターナブル容器を用いた商品を積極的に選択することの啓発を行う。

エ 学校や各地域の団体の活動状況を紹介し啓発を行う。

オ 地域団体及び市民を対象としたごみ処理施設等の見学の実施。

カ 環境教育の一環として、小学4年生の副読本「地球にやさしくなる本」及び市民・事業所を対象とした啓発冊子を配布する。

（2）エコショップ制度の推進

ごみ減量・リサイクル協力店認定制度を推進し、小売店での包装の簡素化、容器包装の店頭回収と資源化を推進する。

（3）レジ袋の削減運動

レジ袋削減に関する三者協定（本市・筑紫野市ごみ減慮推進連絡協議会・市内事業者）に基づき、三者がそれぞれの役割を担い、繰り返し使用が可能な買い物袋（マイバッグ）の持参運動を推進する。

7. 分別収集をするものとした容器包装廃棄物の種類及び当該容器包装廃棄物の収集に係る分別の区分（法第8条第2項第3号）

分別収集をする容器包装廃棄物の種類を下表左欄のように定め、収集に係る分別の区分を下表右欄のように定める。

分別収集をする容器包装廃棄物の種類		収集分別の区分
主としてスチール製の容器包装 主としてアルミニウム製の容器包装		缶
主としてガラス製の容器	無色のガラス製容器 茶色のガラス製容器 その他のガラス製容器	ビン
主として紙製の容器であって飲料を充てんするためのもの（原材料としてアルミニウムが利用されているものを除く。）		飲料用紙パック
主として段ボール製の容器		段ボール
主として紙製の容器包装であって上記以外のもの		飲料用パック、段ボール以外の紙製容器包装
主としてポリエチレンテレフタレート（PET）製の容器であって飲料、しょうゆ等を充てんするためのもの		ペットボトル
主としてプラスチック製の容器包装であって上記以外のもの		白色の発泡スチロール製食品トレイ（以下「白色トレイ」と表記）

また、各分別区分の実施時期について、下表のように定める。

NO.	収集に係る分別の区分	分別収集する容器包装廃棄物の種類	平成					
			23	24	25	26	27	
1	金属	スチール製容器	●	→				
		アルミ製容器	●	→				
2	ガラス	無色のガラス製容器	●	→				
		茶色のガラス製容器	●	→				
		その他の色のガラス製容器	●	→				
3	紙類	飲料用紙製容器	●	→				
		段ボール	●	→				
		紙製容器包装	●	→				
4	プラスチック	ペットボトル	●	→				
		プラスチック製容器包装						
		白色トレイ	●	→				

8.各年度において得られる分別基準適合物の特定分別基準適合物ごとの量及び容器包装リサイクル法第2条第6項に規定する主務省令で定める物の量の見込み(法第8条第2項第4号)

(単位:t/年)

年 度	23 年度		24 年度		25 年度		26 年度		27 年度	
主としてスチール製の容器	128		128		128		127		127	
主としてアルミ製の容器	54		54		54		54		54	
無色のガラス製の容器	(合計) 148		(合計) 148		(合計) 147		(合計) 147		(合計) 147	
	(引渡) 148	(独自) 0	(引渡) 148	(独自) 0	(引渡) 147	(独自) 0	(引渡) 147	(独自) 0	(引渡) 147	(独自) 0
茶色のガラス製容器	(合計) 172		(合計) 171		(合計) 171		(合計) 171		(合計) 170	
	(引渡) 172	(独自) 0	(引渡) 171	(独自) 0	(引渡) 171	(独自) 0	(引渡) 171	(独自) 0	(引渡) 170	(独自) 0
その他のガラス製容器	(合計) 40		(合計) 40		(合計) 40		(合計) 40		(合計) 40	
	(引渡) 40	(独自) 0	(引渡) 40	(独自) 0	(引渡) 40	(独自) 0	(引渡) 40	(独自) 0	(引渡) 40	(独自) 0
主として紙製の容器であって飲料を充てんするためのもの(原材料としてアルミニウムが利用されているものを除く。)	7		6		6		6		6	
主として段ボール製の容器	573		566		560		554		548	
主として紙製の容器包装であって上記以外のもの	(合計) 38		(合計) 38		(合計) 38		(合計) 38		(合計) 38	
	(引渡) 0	(独自) 38	(引渡) 0	(独自) 38	(引渡) 0	(独自) 38	(引渡) 0	(独自) 38	(引渡) 0	(独自) 38
主としてポリエチレンテレフタレート(PET)製の容器であって飲料又はしょうゆその他主務大臣が定める商品を充てんするためのもの	(合計) 101		(合計) 101		(合計) 101		(合計) 101		(合計) 100	
	(引渡) 101	(独自) 0	(引渡) 101	(独自) 0	(引渡) 101	(独自) 0	(引渡) 101	(独自) 0	(引渡) 100	(独自) 0
主としてプラスチック製の容器包装であって上記以外のもの	(合計) 3		(合計) 3		(合計) 3		(合計) 3		(合計) 3	
	(引渡) 3	(独自) 0	(引渡) 3	(独自) 0	(引渡) 3	(独自) 0	(引渡) 3	(独自) 0	(引渡) 3	(独自) 0
(うち白色トレイ)	(合計) 3		(合計) 3		(合計) 3		(合計) 3		(合計) 3	
	(引渡) 3	(独自) 0	(引渡) 3	(独自) 0	(引渡) 3	(独自) 0	(引渡) 3	(独自) 0	(引渡) 3	(独自) 0

9. 各年度において得られる分別基準適合物の特定分別基準適合物ごとの量及び容器包装リサイクル法第2条第6項に規定する主務省令で定める物の量の見込みの算定方法

(1) 市が収集している物の算定方法

過去2年間の収集実績量の各年のごみ排出量に占める割合の平均×ごみ排出予測総量

(2) 既に分別収集実績のある廃棄物で市が収集していない物の算定方法

【段ボール】

直近の収集実績量の伸び率

10. 分別収集を実施する者に関する基本的な事項(法第8条第2項第5号)

本市から排出される容器包装廃棄物に関し、分別収集を実施する者(主体)は、下記の表のとおりとする。

分別収集は、現行の収集体制を活用して行う。なお、行政区等の市民団体が取り組んでいる集団回収については回収量の増加を、小売店での店頭回収については、取り扱い品目の増加を促すなど、それぞれ拡充を図ることとする。

容器包装廃棄物の種類	収集の分別区分	収集運搬段階	選別保管等段階
スチール缶 ----- アルミ缶	缶	市による収集	組合 (選別 貯留)
無色ガラス ----- 茶色ガラス ----- その他のガラス	ビン	市による収集	組合 (選別 貯留)
紙パック	紙パック	市による収集	組合 (選別 貯留)
段ボール	集団回収	再生事業者	再生事業者
上記以外の紙製容器包装	紙製容器包装	市による収集	組合 (選別 貯留)
ペットボトル ----- 白色トレイ	ペットボトル ----- 白色トレイ	市による収集	組合 (選別 貯留)

11. 分別収集の用に供する施設の整備に関する事項(法第8条第2項第6号)

「スチール製容器」「アルミ製容器」「ガラス製容器(無色、茶色、その他)」「飲料用紙製容器」「紙製容器包装」「ペットボトル」「白色トレイ」は筑紫野・小郡・基山清掃施設組合において、選別、圧縮・保管等を行う。

段ボールについては、集団回収を活用して収集を実施する。

12. その他容器包装廃棄物の分別収集の実施に関し重要な事項（法第8条第2項第7号）

分別収集計画が実効あるものとするため、次のことを行う。

- (1) 容器包装廃棄物が排出されたときは、分別の区分をその基準に従って適正に排出されるように、各行政区に設置している環境衛生推進員と協力し、啓発を行う。
- (2) 自治会・市民団体の集団回収に対する支援を継続する。また、市の資源回収実施地区の充実を図るための啓発を行う。
- (3) 事業者が行う容器包装の自主的な回収と資源化を促進するため、協力して啓発を行う。
- (4) 事業者・市民・行政が一体となって、発生抑制及び分別収集に取り組むために各団体間の情報交換・啓発を目的とした筑紫野市ごみ減量推進連絡協議会が組織されていることから、連携を密にして取り組みを推進する。
- (5) 市民のリサイクル意識向上を図るため、啓発冊子の配布及び処理場の見学を継続的に実施する。
- (6) リサイクル等の啓発を推進するための作文・標語・絵画の募集を行い、表彰を行う。